


【報告2】
「県立学校改革推進プラン」に基づき実施した
「教員基礎コース」の追跡調査について



千葉県教育庁企画管理部
教育政策課高校改革推進室

1

「教員基礎コース」の追跡調査について

※「県立学校改革推進プランに係る評価（令和元年度再編実施分）」に記載
再編校の追跡調査について

1 調査の目的
再編により設置したコース等において、大学等卒業後の就業状況について、追跡調査を実施し、再編の効果を検証するとともに、検証結果を踏まえ、生徒にとってより良い学びの場となるよう各学校の取組の支援やコース等の見直しに活用するため。

2 調査対象
教員基礎コース 第1期生（千葉女子高校・安房高校）
平成26年度設置 平成28年度卒業

2

「教員基礎コース」の追跡調査について

※「県立学校改革推進プランに係る評価（令和元年度再編実施分）」に記載

3 調査結果
 調査数71名 回答数35名（回答率49.3%） ※令和3年6月実施

- (1) 進学先で教職課程を履修した生徒数 24名 / 35名（68.6%）
- (2) 進学先で教員免許を取得した生徒数 23名 / 24名（95.8%）
- (3) 千葉県・千葉市教員採用試験を受験した生徒数 13名 / 23名（56.5%）
- (4) 千葉県・千葉市教員採用試験で合格した生徒数 6名 / 13名（46.2%）

※未回答も含めると8名が県内公立学校に正規採用

3

「教員基礎コース」の追跡調査について

※「県立学校改革推進プランに係る評価（令和元年度再編実施分）」に記載

(5) 就業状況（回答数35名の内訳）

種 別	人数	%	主な進路先
小中高教員	13	37.1	(正規採用) 県内公立学校 6、県外公立学校 2、 県外私立学校 1 (臨任講師) 県内公立学校 4
その他就職	13	37.1	幼稚園 2、保育園 2、児童相談所 1、養護施設 1、 公務員 2、一般企業就職 5
進 学	1	2.9	
在学中	1	2.9	
その他	1	2.9	
無回答	6	17.1	
計	35	100.0	

4

「教員基礎コース」の追跡調査について

【参考】卒業生の主な意見

- ・教員基礎コースで教職体験をしたことで、大学選を一年生の頃から真剣に考えることができたし、将来こうなりたいというイメージも、持つことができたと思う。働き始めてから、日々の仕事の忙しさに追われて目の前の子どもに対してきちんと指導できているのか不安になるときもあります。そんなときに教員基礎コースで勉強した数々の資料と、当時の自分の考えを振り返って教育の楽しさを感じています。そうやって振り返る場所があるということに誇りと安心感をもっています。
- ・自分の進路を見つめる良いきっかけとなった。子どもに関わる仕事がしたいという思いで教師になりたいと思い、コースに所属した。その中で、子どもに携わる仕事は教師以外にも様々にあることに気づいた。コースでの気づきを通して、大学に進学し、自分自身が挑戦したい分野を見つけることができたのだと感じている。
- ・様々な実習を通して、教員という職業の魅力的なところ、大変なところを知る機会を得ることができました。そのおかげで、進路を考える上でのミスマッチを防げたと思います。コミュニケーションの取り方、他者理解といった社会人としての基礎にも通ずる学びは、今の生活に生きています。
- ・大学の教育実習のイメージがつくので、準備しやすかったと感じています。どんなところかのイメージがあるので、慣れることにそれほど時間を費やすことなく授業づくりや子どもとの関わりに集中できました。また、良い先生ってなんだろう？というディスカッションが私は心に残り今でも良かったと思っています。大学でも教職の勉強はしますが、どんな先生が良いかということディスカッションする機会はなかなかありませんでした。高校生という生徒目線から、良い先生はなんだろう？という根本的なトピックをディスカッションしあえたことは今も生きています。教員採用試験の面接練習や、教員になった今でもその高校生のときに考えた原点に立ち返ることがあります。教員の道を選ばなくても、ひとつのテーマについて実践したりディスカッションしたりするという過程を経験したことは糧になると思います。
- ・教員基礎コースの講座で学んだ知識や考え方は今の仕事の基盤になっていると感じます。具体的に講座名や先生の名前は覚えていませんが、講座の中で先生が仰っていた「先生として完璧でいようとするのではなく、自分もわからないことがあったとしても学び続けてその姿勢を生徒に見せることが何より大切」という言葉が授業や生徒と関わる上で基盤になっていると思います。

5

「教員基礎コース」の追跡調査について

【主な意見(抜粋)】

- 大学選を一年生の頃から真剣に考えることができた。
- 将来こうなりたいというイメージも、持つことができた。
- コースでの気づきを通して、大学に進学し、自分自身が挑戦したい分野を見つけることができた。
- 教員という職業の魅力的なところ、大変なところを知る機会を得ることができたことで、進路を考える上でのミスマッチを防げた。
- 教育実習のイメージが付き、準備しやすかった。

6